新 年を 除 災 招

で

田

辺

咫

な で 年コと会 す。な にロう員 なナごの り禍ざ皆 まのい様 すなま こかす。け ま 7 心は 配ど お でん

なっ代でを福豊新行修 でのナも、今で、で、たり詣熊す表守溢熊り日かも授一作し事正昔す祈をのそ回し魂す東。がの野。れりれ野ま本ら熊かの祈いが会か。りふでんのたの。門所け人牛 るとる三し大八野る証願年あとらのつすな八。救言へ願に々玉 としそ山た一咫の祈とののり呼新 °れりれ野ま本ら熊かの祈いが会か としそ山た一咫の祈とののり呼新 さてのの。 鳥牛年し餅平まば年 有が玉祭てを安すれに 、供を°るは 名デ宝な なザ印の牛え祈罪正 おイはで玉、る科月悔 守ン、す宝「祭をを過 りさ戦。印除で祓修会 札れ国なな災すいすと に、時かど招

でがお力 緑神 n ' る熊葉木 な野は・ `棚 ど権 大現魔も 変の除っ 有神け生 名詠の命

物でのてし帰野 済わ油が授が宝 にば戸成か三印 関お一就る山と わ守です大そ梛 るりいる切れの 重のた証なぞ葉 要元だと護れは な祖いし符で た で

がいちる張

野湛はりいて

坐快な立高

牛玉

宝印

本

の

提こあ2

いヘロたは のつすな八 一飛 。謂咫 呪ば新れ鳥 布す年をマートに背上 に除あ景ク な災たにの れ招り作マ ば福、成ス 幸一コしク

日

タ

ガ

ラ

ス

山協

本会

殖会

生長

た城藤代口仰た を家にと華和古 え3紀てか山は ら万州賑り県「 れ8徳わし田牟 紀千川い頃辺婁 伊石家をは市ノ 田のの見能、津 辺所御せ野熊 藩領付、へ野と をと家江の三呼 治田老戸入山ば

、「、詩日持」あ和れれ言こ 辺 。深こ灯のげ日笠お旧とにつはる歌る 、わの 与がはしや歌く 別平くれに笠て間鉾笠城な営祭4闘山よ近れ頃 当安関は八鉾のにと「下つま典6鶏県う郷るに 家時わ 、咫1 賑亘住とのてれで 0 神指にに田紀 を代つ闘鳥基わつ矢言各い、毎有社定な稀辺州 創にて鶏がといてとわ商る田年余の無つな祭三 立熊い神描衣と町呼れ人[°]辺7年例形た大の大 し野る社か笠な中ばる町こ市月の大民。祭祭祭 と典り め辺安時り信れ 知えつ

¬別ののれそるをれ山かのの2長祭俗 熊当で成てし。巡る車ら祭夏4い「文」しもの 行衣の8りの・歴田化 て整一 笠一基 風2史辺財 り幕と刺と い使社十大 4で繍紺田るいで二神 高かあが屋辺のであ所 張所る縫町祭である権を 提に゜いののはるこ現勧 灯もま込衣パと八と宮請 に八たま笠ン思咫かしし

非催祭 田さは 辺れ中 をばと 見、な し員た てのが

ん祭の もが田 是開辺 るが

町が種のは物5を祭で ららと

令ル型 カン 和スコ n 2のロ 7 年影ナ



本へ烏我 宮松を々 館本探の し会 館 長純ての 一頂シ ・きン 元たボ 世いル 。で 界 ある 遺 産 熊 八 野

咫



会員 \mathcal{O} 皆

ガ付令 議そえり事影 キし和令とこてま業響新 にて2和さで、ざい開ジョ 載り度年て本いまがけ口 のま予度い年またむ 上す算決た度せ、つ当ウ ごの案算だはん通か協イ き総 常し会ル 送、 事事ま会 総いもス く同業業すを だ封案報 書 会状本感 等況年染 だ封案報 さのを告 もに度症 面 ハ送 決 行あはの

も咫、れにフわ烏らでた 同鳥片てはレれが、現の

じの町い、ツる使熊在が

く刺のる八ト 『用野の「

鳥あのこのる ての神野

さの闘新

れ神鶏熊

八繍笠と咫に

咫が鉾の烏よ

務 局